

「感じ」「動き」「かわる」…新たな未来に向かって！



さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和8年3月2日 文責：校長 森川 稔

卒業式・修了式までのカウントダウン

春の訪れを感じる季節となり、いよいよ今年度の締めくくりの時期、3月を迎えました。子どもたちはこの一年間、さまざまな経験をとおして大きく成長しました。学習に取り組み、友だちと助け合い、時には困難に立ち向かいながら、一步一步進んできた姿はとても頼もしく感じられます。



卒業や進級という次のステージに子どもたちは向かおうとしています。これまで積み重ねてきた努力や学びを自信に変え、新たな一步を踏みだしてほしいと願っています。私たち教職員も、子どもたちが安心して新たなステージに進めるよう、最後までしっかりと支えてまいります。今月もどうぞよろしくお願い致します。

ご来校ありがとうございました！

先週の授業参観、学級懇談会にはご多用な中、ご来校いただきありがとうございました。今年度最後の授業参観ということで、学習発表や一年間を振り返った内容、学習のまとめ活動などいろいろな内容の授業を参観していただきましたが、お子さんの様子はいかがだったでしょうか。残り二十日あまりとなった3学期ですが、「できるようになったこと」「成長したこと」



「引き続きがんばること」などを先生方と子どもたち、そして保護者の方々で共有しながらしっかりと次の学年につなげていきたいと思います。

学級懇談の際に担任より配付、説明があった学力調査の結果につきましても、解答率の数値のみで判断されることなく、ご家庭でお子さんと共有していただきますようお願い致します。

ありがとうの気持ちを込めて

授業参観後の学級懇談会と並行して行った学校支援会議「東っ子かたろう会」の前に、卒業を控えた6年生が全校児童を代表して、毎朝学校周辺で立哨指導をしていたいただいているの方々にお礼のメッセージを渡しました。

雨の日も風の日も毎朝立っていただき、子どもたちの安全を見守り、優しく接していただいている地域の方々、これを当たり前のこととしてとらえるのではなく、自分たちのためにしていただいているという意識をもつことで、おのずと感謝の心が



生まれると思います。

その後の「東っ子かたろう会」では、学校経営や子どもたちのあいさつの様子、学力定着について活発なご意見やご感想をいただきました。これらをもとに今後さらにいい学校づくりを目指していきたいと思ひます。

同じく先週は、一年間、毎週子どもたちに本の読み語りをしていただいた図書ボランティア「東風」のみなさんにも感謝の気持ちを伝える会を行いました。たくさんの方々に見守られ、支えられている子どもたち、とても幸せです。



ちょっとだけ延ばしてみてもいいかがでしょうか

三寒四温を繰り返しながら草木の芽もほころびはじめ、温かい日が増えてきました。毎朝子どもたちの登校の様子を見ていると、衣服が少し軽めになったり、身につけていた防寒具が必要なくなったりして動きやすい服装になってきています。

本校は校区の特性上、徒歩での通学にかなり時間を要するところもあり、約8割の児童が自家用車で学校の近くまで送ってもらって登校しています。送迎の際の乗降場所については、交通ルールやマナーを守っていただきとてもありがたいです。



最近校長自身も、時間に余裕のあるときにちょっとした会議に行くときや、週休日に校区内を歩いて通学路に危険箇所がないか、交差点や道路の横断などで留意する場所がないかなどを確認しています。実際に歩いてみることで、車を運転しては見えないいろいろなものが見えてきます。

そこで温かくなってくるこの3月、たとえば朝お子さんを降ろす場所をいつもよりちょっと手前にするなどして、歩く距離を少し延ばして体力増進につながったり草花の様子を見たりして春を感じるようにされてみるはいかががでしょうか。ふだんとはちょっと違った景色を見ながら立哨の方に元気よくあいさつをして登校するのもいいかな…と思っています。それぞれの事情もあるかと思ひますので、無理にとは言いませんが、可能な範囲でご検討いただくとありがたいです。



田平東小HPはこちらから→

